

学校評価（保護者用：7月）

「学校の取組として児童の育成に効果が表れているもの」 の保護者コメントについて

特色ある教育活動

- 学区探検などの課外活動は、学校の近辺であっても、低学年にとっては貴重な経験になると思う。
- 七輪体験を行ったことで、自宅でも試して実践することができ、食への関心が高まった。
- あえて「歯磨き粉」をつかわない歯磨き指導をしていただいているところです。
- 読書貯金カードの取組がとてもよいと思います。

A 感染症の対応もあり、以前ほど、学校外の方やものとの交流がもてない現状ですが、子供たちの豊かな感性や社会経験等を身に付けさせるべく、感染症対策を徹底しながら、今後もできる限りの体験活動等を行っていく予定です。
保護者の皆様には、ご協力をお願いすることもあると思いますが、よろしく願いいたします。

個に応じた指導

- 子供の特性を理解し、個別性のある教育計画をもとに温かくご指導いただき、嫌がらず登校しています。お友達と仲良く遊び、宿題にも自主的に取り組んでいます。

A 子供たちは、一人一人異なる個性をもっています。その一人一人が最大限によさを発揮して輝けるよう、また、数年後の将来も生かせる力を育めるよう個に応じた指導を続けていきます。
子供たちのことで、何か気になることがありましたら、気兼ねなく担任等にご相談ください。

生活指導

○ 先日、子供の登下校に付き添った際に、出会った保護者や地域の人に挨拶をしている姿を見てすごいなと思いました。

以前、子供と一緒に下校しているとき、保護者とすれ違った際に、学年が違う保護者にも挨拶をしている私に、子供から

「なんで知らない人なのに挨拶したの？」

と問いかけられました。

「知らないお母さんだけれど、同じ小学校に通わせているお母さん同士だから、いつかご一緒するかもしれないし、もしかしたらあなたがお世話になっているお友達のお母さんかもしれないからかな。」

と答えると、子供は理解をしたような、まだ理解しきれていないような顔をしていました。私自身、ご近所の方などにはご挨拶はするものの、本当に見知らぬ人であれば、保護者証をつけていなければ挨拶しなかったかもしれません。道行く人に出会い頭に挨拶をするべきか、はたまたそれが何か事件に繋がってしまうことを考えて避けるべきか、色々と考えさせられました。

挨拶は素晴らしいですが、どこまでの人に挨拶したらいいのか分からないという子もいるのかなと思います。挨拶を推進していくと同時に、ちょっとした子供たちの疑問にも寄り添っていただければ幸いです。

○ 黒浜西小に入学してから、何事にも精一杯取り組むようになりました。高学年になり、さらに家族の一員として、たくさんお手伝いをしてくれるようにもなりました。また、実践的な家庭科の授業内容に感動しています。友達もみな素直で、まっすぐで、挨拶もしっかりしてくれてすがすがしいです。いじめなどもなく、日曜の夜に「明日やっと学校だ～」と学校を楽しみにしている姿を見ると、良い学校だなあと思います。

○ 子供たちが、お互い助け合っている様子が見られます。

A 今年度の目指す児童像は、

○ 「自立する力」を基盤に、「協働できる力」を発揮できる児童

○ 自分のよさを知り、自信をもって生活できる児童

です。

学年に応じた自主的な活動と、協働的な活動を継続し、自らのよさを実感できる教育を推進してまいります。

挨拶については、よりよい人間関係を築くための基本であり、学校以外の社会的場面でこそ生きる力です。それを指導できる一番の環境は、家庭でのしつけであると考えています。また、家庭と学校とで共通の認識をもって子供たちを育てていくことで、その効果も高まってくるものです。教職員間でも共通理解をして、継続的に指導をしてまいります。